

甲南駅周辺地区（第二期）都市再生整備計画について

1. 趣旨

甲南駅周辺地区は、甲賀市都市計画マスタープランにおいて、日常生活を支える商業や医療・福祉等の都市機能をはじめ、観光・歴史文化や伝統産業等の多様な都市機能の維持や充実を図る「地域拠点」に位置付けており、現在、地域市民センターなどの行政機能の集積や商業施設の立地などにより利便性が向上したことに伴いまして、周辺において民間事業者による宅地開発が活発に進められております。

また、拠点の南側では新名神高速道路甲南 I Cを活かしまして、市内に点在する日本遺産「忍者」の構成文化財の中心位置となる、「忍者を核とした観光拠点」の形成を進めております。

これらのことを踏まえ駅周辺の深川地区を中心に、甲賀流忍術屋敷をイメージした駅舎の建築や都市計画道路甲南駅前線の建設等を含む、甲南駅周辺地区都市再生整備計画事業を今年度末まで実施し、次年度以降も継続して事業進捗を図るための第二期の計画を策定するものです。

2. 甲南駅を中心とした住んでみたい・住み続けたい・訪れてみたいまちづくりの推進

- 【目標 1】：駅周辺への居住誘導に向けて生活環境を改善する。
- 【目標 2】：忍者を核とした観光周遊ネットワークを形成する。
- 【目標 3】：地域資源を活かして地域の魅力を向上させる。

3. 甲南駅周辺地区（第二期）都市再生整備計画（案）策定の流れ

- 4月～9月 ・ 甲南駅周辺地区（第二期）都市再生整備計画検討委員会の開催（3回）
（参加者）学識経験者、地元住民（甲南駅を育てる会）、関係部署
・ 計画素案及び計画案の作成、アンケート調査（住民意識調査）
・ 国県事業ヒアリング
- 10月 ・ 国へ計画書提出
- 3月 ・ 交付内定通知

- 令和4年度～令和8年度 事業実施

甲南駅周辺地区(第二期)(滋賀県甲賀市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	甲南駅を中心とした住んでみたい・住み続けたい・訪れてみたいまちづくりの推進	代表的な指標	利便性・安全性満足度指数 (-)	要調査 (R3年度)	→	要設定 (R8年度)
	目標1: 駅周辺への居住誘導に向けて生活環境を改善する		甲南駅定期外乗車人員 (人/日)	161 (R1年度)	→	175 (R8年度)
	目標2: 忍者を核とした観光周遊ネットワークを形成する 目標3: 地域資源を活かして地域の魅力を向上させる		地域住民の定住意向 (%)	要調査 (R3年度)	→	要設定 (R8年度)

